

会議ダイジェスト

企画委員会

・第 3 回学生見学会実行分科会

開催日：2月12日

出席者：羽田野主査，ほか 17 名。

1. 応募状況報告
2. 見学会の旅費負担について
3. 今後のスケジュール
4. 会場担当者名簿確認

編集委員会

・第 5 回編集運営委員会

開催日：2月8日

出席者：南雲委員長，ほか 15 名。

1. 和文，欧文，講演大会，Materials Processing 各分科会の活動報告
2. 講演大会参加費の徴収について

企画委員会会計分科会で承認されている講演大会参加費の徴収に関する報告があり，提案の参加費が了承された。

3. 支部活性化と講演大会の会場制約打開の目的で，講演大会の分散化について検討し，そのメリット，デメリットを整理した。この結果は各支部に流し意見を求め，更に必要があれば検討する。

4. ISIJ International Supplement 発行の検討

日本の技術的な内容を中心とした Supplement を発行する方向で検討。予算や編集に問題も多く，理事会に検討依頼する。

5. 会報発行の検討

「鉄と鋼」を論文誌と会報に分離発行する方向で検討したが，問題が多々あり，理事会の意見をうかがうこととした。

・第 11 回和文会誌分科会

開催日：2月1日

出席者：南雲委員長，ほか 24 名。

1. 16 件の論文審査報告がなされ，掲載決定 10 件，照会后掲載可 2 件，修正依頼 1 件，その他 3 件であった。

2. 「鉄と鋼」第 77 年第 6 号（6 月号）に論文 6 件，技術報告 4 件掲載決定した。

3. 解説等，4 件の依頼記事を決定した。

・第 10 回欧文会誌分科会

開催日：1月25日

出席者：菊池主査，ほか 13 名。

1. 30 件の原稿につき報告がなされ，掲載可 3 件，照会后掲載可 7 件，修正依頼 16 件，返却 4 件であった。

2. ISIJ International, Vol. 31 (1991), No. 5 に Regular Article 13 件，Review 5 件の掲載を決定した。

3. 複合材料特集号の Call for Papers (英和文) が承認された。

・第 11 回欧文会誌分科会

開催日：2月22日

出席者：菊池幹事，ほか 8 名。

1. 14 件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可 2 件，照会后掲載可 3 件，修正依頼 6 件，返却 3 件であった。

2. ISIJ International, Vol. 31 (1991), No. 6 戸延特集号に Regular Article 17 件，Review 3 件の掲載を決定した。

3. 第 2 回澤村論文賞選考小委員会委員を決定した。

4. 金属間化合物特集号を本年 10，11 月合併号として発行する件については，4 月以降に検討することとなった。

5. 投稿規程改訂を今後検討することが承認された。

研究委員会

・第 5 回研究委員会

開催日：1月23日

出席者：岡本委員長，ほか 17 名。

1. 平成 3 年度新規部会について
2. 平成 3 年度予算案について
3. 研究環境実態調査小委員会中間報告
4. 部会活動終了報告
鉄鋼材料の相界面・結晶粒界の設計と制御部会（特定基礎研究会）
5. 各研究会運営委員会報告

・第 1 回将来研究課題小委員会

開催日：2月5日

出席者：徳田委員長，ほか 13 名。

1. 委員長挨拶，経緯説明
2. 各委員自己紹介
3. 委員会のすすめ方についての自由討論
4. 今後の予定

共同研究会

・第 2 回運営委員会

開催日：1月21日

出席者：森田会長，ほか 27 名。

1. 前回議事録の確認

2. 部長主査委解嘱の報告
3. 平成 2 年度共同研究会予算執行実績報告
4. 平成 3 年度共同研究会予算案審議
5. SI 単位系への移行について
6. 元号の西暦年への移行について
7. 原子力部会活動終了報告
8. 部会活動報告（耐火物部会，鉄鋼分析部会，設備技術部会）

・運輸部会第 2 回物流技術調査小委員会

開催日：2月18，19日 場所：川鉄/知多。出席者：安田委員長，ほか 27 名。

小委員会活動を進めるにあたり以下の項目について討議を行った。

- (1) レポート基本構想について
- (2) 調査方法，項目の整理
- (3) 活動スケジュールの確認
- (4) 各社分担の取り決め

・第 11 回亜鉛めつき鋼板部会

開催日：2月7，8日 場所：住金/和歌山。出席者：鍋丁部会長，ほか 128 名。

1. 操業状況（平成 2 年 4 月～9 月）
2. 共通議題「表面外観品質向上対策」
3. 自由議題発表 21 件
4. 工場見学：メッキ工場（1～3 CGL）

特定基礎研究会

・第 4 回構造材料の信頼性評価技術部会

開催日：1月22日

出席者：田中部会長，ほか 16 名。

1. 研究成果報告書の骨子を固めた。
2. シンポジウムを平成 3 年 11 月 18，19 日とする。
3. 当部会の最終部会にあたり，部会長より挨拶があった。

・第 6 回材料電磁プロセッシング部会

開催日：2月6日 場所：川鉄/東京本社。出席者：浅井部会長，ほか 30 名。

1. 研究発表
 - (1) 自由表面挙動を考慮した連続铸造機铸型内溶鋼流動解析
 - (2) 高周波誘導炉を用いた溶鉄の攪拌制御（第 2 報-2 次コイルによる攪拌制御）
 - (3) 高周波磁場内の Al 溶湯形状の解析
 - (4) 金属の初期凝固現象に及ぼす磁気圧力の効果
 - (5) 浮揚溶解型コールドクルーシブルにおける電磁場解析・自由表面問題

(6) コールド・クローシブル内の溶湯金属形状の三次元有限要素解析

・第 2 回 コークス製造のための乾留制御部会

開催日: 2 月 14 日 場所: 幕張研修センター. 出席者: 持田部会長, ほか 48 名.

1. 部会活動の全体説明

2. 予熱に関する研究

(1) 急速熱分解技術の現状

(2) 石灰粉の急速加熱プロセス (流動層による石炭の急速加熱)

(3) 急速加熱時の軟化溶融石炭の付着性および加熱炭の粘結性と塊成化挙動

3. 粘性に関する研究

(1) 従来の粘性評価法

(2) 急速加熱プロセスにおける粒子の接着性と変形

(3) 石炭粒子の軟化溶融特性

4. 塊成化に関する研究

(1) ホットブリケット・室炉ホットスタンプ

(2) 模擬移動層を用いた溶融・塊成化の検討

(3) 予熱処理成型コークス化による高強度コークスの製造

(4) 軟化溶融石炭の特性研究

5. 高炉

(1) 高炉で要求されるコークス品質

(2) 一次元高炉数式シミュレータによる解析

基礎研究会

・第 6 回 熱プラズマ研究部会

開催日: 2 月 7 日

出席者: 牛尾部会長, ほか 21 名.

1. 研究発表

(1) 国際会議報告

a) European Congress on Thermal Plasma Processes and Materials Behaviour at High Temperature (Sept. 12-14, 1990, France)

b) Plasma for Industry and Environment 技術会議 (Sept. 25-27, 1990, England)

(2) 最近のプラズマ応用技術について

(3) 低圧気中アーク放電の検討

(4) 複合超微粒子 (熱プラズマ利用技術)

・第 4 回 極低炭素鋼板研究部会

開催日: 1 月 28 日

出席者: 佐久間部会長, ほか 31 名.

1. 研究発表

(1) Fe-M-I 系合金の焼入れ時効過程に

おける電気抵抗率と DMR の変化

(2) 時効性および 2 次加工脆性におよぼす C 量の影響

(3) Nb, Ti 複合添加極低炭素鋼における固溶 C, N 量の平衡計算

(4) 鉄鋼中の炭素定量法の現状と問題点—装置・分析条件・試料の観点から—

(5) 高純度鉄中の極微量炭素の定量分析結果

・第 5 回 組織制御と性質研究部会

開催日: 1 月 23 日

出席者: 小指部会長, ほか 14 名.

1. 特別講演「疲労強度に及ぼす微小欠陥や非金属介在物の影響」(九大・村上教授)

2. 研究報告「ショットピーニングした浸炭車用鋼の回転曲げ疲労強度に及ぼす介在物の影響」(NKK)

3. データ集のアンケートフォーマットの検討

鉄鋼基礎共同研究会

・第 3 回 鉄鋼の表面高機能化部会

開催日: 1 月 21 日

出席者: 増子部会長, ほか 16 名.

1. 事例発表と研究項目の提案 4 件

2. 今後の進め方についての討議

・第 10 回 鉄基複合材料部会

開催日: 2 月 14 日

出席者: 新居部会長, ほか 23 名.

1. 秋季シンポジウムプログラム案について

2. 報告書案について

3. 研究発表「チタン・クラッドの界面分析」「圧延チタンクラッド鋼の実用性能」

・第 6 回 変形特性の予測と制御部会

開催日: 2 月 15 日

出席者: 吉永部会長, ほか 21 名.

1. 各 WG の研究状況報告

2. 平成 3 年度の部会運営について

3. 話題提供

(1) θ 法と耐熱材料設計 (東北大)

(2) 耐熱鋼開発におけるクリープ強度の向上 (三菱重工)

日本圧力容器研究会議

・第 49 回 JPVRC 非破壊試験専門委員会

開催日: 2 月 20 日

出席者: 川本委員長, ほか 9 名.

1. JPVRC 運営委員会報告

2. 集束探触子の特性測定結果報告

3. 試験体 No. 7 試験結果について

4. 探触子の種類による各欠陥の相対エコー高さの比較

標準化委員会

・ISO 鉄鋼部会

開催日: 2 月 13 日

出席者: 藤原部会長, ほか 16 名.

1. ISO 活動の国内外の情勢

2. 各分科会活動報告

共通課題

(1) JIS/ISO 規格審議組織及び団体の同一化

(2) 分科会組織合理化

3. TC 17/SC 20 (鋼の出荷条件) 京都会議について

同幹事国である英国より TC 17 総会と同時開催についての打診があり審議した.

4. 1991 年 ISO 国際会議出席計画について

各社の分担計画について審議決定した. しかし現在各社とも湾岸情勢を配慮し海外出張をひかえており, 本件についても原則としてこのことを尊重して運用することとなった.

・第 151 回 鋼管分科会

開催日: 1 月 24 日

出席者: 奈良主査, ほか 12 名.

1. 鉄鋼部会結果報告

2. ISO/JIS 整合化推進 WG 経過報告

3. 鋼管 JIS 整合化の方針検討

4. ケーブル保護管の規格について

